

# 国語科学習指導案（中学校3年生）

## 単元名「話を聞いて自分の表現に生かす」

### I 単元の構想

#### 1 身に付けさせたい資質・能力および生徒の実態

	身に付けさせたい資質・能力	生徒の実態
<b>知識・技能</b>	・伝えたい事柄を、適切に表現できる言葉を選択し、効果的に使うことができる力。	・略
<b>思考力・判断力・表現力</b> (話すこと・聞くこと)	・スピーチの工夫について考え、自分の考えを広げたり深めたりすることができる力。	・略
<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	・よりよいスピーチにするための工夫を積極的に取り入れてスピーチ原稿を作成し、自分の思いをしっかりと伝えようとする態度。	・略

#### 2 目標

スピーチを聞き、内容や表現の仕方のよい点を学んで、自分の考えや表現に生かすことができる。

#### 3 評価規準

##### 【知識・技能（ア）】

・自分の考えを伝えるときに、適切な語句を選び、効果的に使うことができる。 (1) イ

##### 【思考・判断・表現（イ）】（話すこと・聞くこと）

・他の人のスピーチを聞いて、よりよいスピーチするために工夫されていることを考え、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 A (1) エ

##### 【主体的に学習に取り組む態度（ウ）】

・スピーチの内容を吟味し、表現を工夫して、自分の考えを伝えようとしている。

#### 4 単元計画および指導方針

時	過程	学習活動	評価	指導方針
1 本時	つかむ	・高校生のスピーチを聞いて、よりよいスピーチにするためにはどのような工夫が必要であるかを考える。	イ	・表現の工夫を考える際には、身近な例を取り上げることで、抵抗感を少なくする。 ・グループでの話し合い活動の際、ホワイトボードを活用することにより、意見の比較・分類をしやすいとする。
2	追究する	・前時に学習した工夫を生かして、スピーチ原稿を書く。	ア	・いくつかのスピーチ原稿や国語便覧、国語事典、類義語辞典などを使って、効果的で印象的な言葉を見つけられるよう支援する。 ・一人ひとりが語彙を増やせるよう、丁寧な机間指導を行う。
3	まとめる	・スピーチ発表会を行い、工夫した点やよかった点を伝え合う。	ウ	・互いに聞き合って、工夫した点が効果的だったかを確認させることで、学習の成果を実感させるとともに、伝え合う活動への意欲をもたせる。

### II 本時の学習

#### <ねらい>

高校生のスピーチを参考にして、よりよいスピーチにするためにはどのような工夫が必要であるか考えることを通して、問いかけや体験談を交えたり印象的な言葉を用いたりすることの効果を実感することができる。

学習活動	指導上の留意点
<b>1 少年の主張大会を振り返り、本時のめあてを設定する。（5分）</b>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>&lt;めあて&gt;</b>                      ・スピーチの内容をよりよくするためには、どのような工夫をしたらよいらろうか。                 </div>	・「話すこと・聞くこと」の学習にスムーズに入れるよう、少年の主張大会でどのような発表がよかったか振り返らせる。 ・次週にスピーチ発表会を行うことを伝え、本時の学習に必要な感や見通しをもたせる。 ・よりよいスピーチができるように学ぶことを、クラスの生徒全員に意識させる。
<b>2 高校生のスピーチを聞き、よい点について個人で考え、ホワイトボードにグループの考えを記入する。（20分）</b> T：高校生のスピーチの内容で、よかったところはどんなところでしょう。また、それは	・スピーチのモデルとして、高校生のスピーチを聞かせる。 ・スピーチの内容についての考えをはっきりさせるために、数人に感想を発表させる。

なぜでしょう。

- S : 聞いている人に問いかけるところがあった。問いかけられると、他人事ではなく、自分に言われているような感じがした。
- S : 体験談を入れた。体験談があると、「あっ、同じようなことがあった」と自分のことのように感じられて共感できた。なるほどと思えて説得力があった。
- S : 考えてもみないようなことが書かれていて、驚いた。「食が今の人間社会の原点を築いていた」なんて考えたことがなかったから、興味を持って聞けた。
- S : 難しい言葉遣いをしているところがあって、その言葉が印象に残った。

### 3 ホワイトボードに記入したことをもとに、全体で話し合い、共有する。(15分)

- T : 各グループから出された意見で、共通していることはどんなことでしょうか。また、違うことはどんなことでしょうか。
- S : 問いかけているということは、どのグループからも出ていた。
- S : 言葉遣いについては、気づいたグループが少なかった。
- T : 例えば、どのような言葉が印象的でしたか。
- S : 「あまねく」「食物連鎖」「命のリレー」「人間社会の原点」「称え敬う」「多大なる」
- T : よりよいスピーチにするために必要なことは、言葉遣いや言い回しだけでしょうか。他に必要なものはありますか？
- S : 構成を工夫すること。
- S : 伝えたいと思うことを持つこと。
- S : 視野を広くして、いろいろなものを見たり感じたりすること。
- S : 学んだことを繋げて考えること。

- ・よかった点についての話し合いを効果的にするために、まず個人で考えさせる。
- ・グループで話し合うときは、必ず理由を添えて意見を言うように指示する。
- ・理由の根拠になる言葉に当たれるよう、スピーチの原稿を配付しておく。
- ・しっかりと話し合う場面を確保するために、話し合いが進んでからホワイトボードを配布する。
- ・机間指導を行い、生徒の考えを把握しておき、意見の共有の際の意図的指名につながるようにする。

#### 【評価項目】思考・判断・表現 (イ) (ノート・発言)

スピーチを聞いて、共感を得られる内容にするための工夫や、体験談を交えたり印象的な言葉を用いる表現のよさに気づいている。

- ・表現方法の工夫だけでなく、着眼点のよさや情報の新鮮さ、話の構成の巧さにも触れる。

### 4 本時のめあてに対するまとめを確認し、学習内容を振り返る。(10分)

#### <まとめ>

- よりよいスピーチにするための工夫
- ① 視野を広くして伝えたいことを持つ。
  - ② 体験談を交えて説得力をもたせる。
  - ③ 問いかけや新たな情報を入れて構成を考える。
  - ④ 四字熟語や比喩など印象的な言葉を使う。

- ・めあてとの整合性を意識してまとめることができるよう、再度めあてを確認する。
- ・本時の学習内容を各自でまとめ、ノートに記述させる。
- ・意図的指名により、数人の生徒にまとめた内容を発表させ、全体のまとめとする。
- ・学習内容に合わせて、学びを実感できる振り返りの視点を提示する。

#### <振り返り> (学習を生かす視点)

- T : これからどんなスピーチをしたいと思いますか。
- S : 自分らしい内容を、体験談を交えて伝えたいと思います。

### 板書計画

振り返り	④ 四字熟語や比喩など印象的な言葉を使う。 ③ 成をいかけた。入れて構 ② 問をいかけた。入れて構 ① 力体験談を交えて説得 ① たいことを持つ。説得 ① 視野を広くして伝え ① 視野を広くして伝え	ホワイトボード ホワイトボード ホワイトボード ホワイトボード	ホワイトボード ホワイトボード ホワイトボード ホワイトボード	めあて よりよいスピーチの内容を はりよくするたため には、よりよいスピーチ をしたからというたため か。	話を聞いて自分の 表現を生かす
------	---	--	--	--	--------------------